

# 明日に向かって ともに創る

⑬

大船渡市長 戸田公明

## 市内にはこのようなスポットがあります 桜・ハナミズキ・千年広場・ツバキ

大船渡駅周辺地区では、昨年3月13日と本年4月29日に、第一期・第二期まちらきを行いました。

第一期まちらきでは、アメリカ合衆国から国樹「ハナミズキ」が寄贈され、また第二期まちらきでは、宝くじの社会貢献広報事業の寄贈を受けて日本さくらの会から「桜」が提供され、それぞれ植樹されましたので、概要を報告します。

1912(明治45)年に、



アメリカ合衆国寄贈のハナミズキの記念植樹式



日本さくらの会提供の桜の記念植樹式



キャッセン・モール&パティオ内の千年広場



資生堂ジャパン(株)寄贈のツバキの植樹式

と伺っています。寄贈にあたりアメリカ大使館でケネディ前大使との懇談会が開催され、私も参加しお礼を述べてまいりました。

昨年の第一期まちらきではセレモニーに先立ち、アメリカ大使館・米国海軍の関係者もお招きし、ハナミズキの植樹式を行いました。本市にとつて誠に光栄であり記念すべきものとなりました。植樹した場所は、大船渡駅前交通広場とその周辺道路などです。

第二期まちらきにおいてもセレモニーに先立ち、(公財)日本さくらの会理事長、初代・第4代・現(第26代)日本さくらの女王などが参加し、桜の植樹式が行われました。日本さくら

の会は1964(昭和39)年、東京オリンピック開催の年に日本の花「桜」の愛護、保存、育成、普及などを目的に超党派の国会議員有志により設立され、歴代衆議院議長が会長を務められています。創設以来50年余りに

なりますが、この間、国内で約320万本、海外で約60カ国に15万本もの桜植樹を行っている由緒ある組織です。今回の植樹も本市としては誠に光栄です。植樹場所は桜橋を挟んだ須崎川の両岸です。

また、キャッセン・モール&パティオの須崎川沿いの(株)キャッセン大船渡の「千年広場」の計画は、昨年秋に開催された第27回「緑の環境プラン大賞」におい

て、シンボルガーデン部門の国土交通大臣賞を受けました。そしてスポンサー企業の第一生命(株)から約1,000万円が(株)キャッセン大船渡に助成され、樹木と芝生を中心とした広場が整備されました。

5月26日には、キャッセン・モール&パティオとフードヴィレッジで、資生堂ジャパン(株)の復興支援の一環として、「椿の里大船渡」再生のため、(一社)日本ツバキ協会と(一社)岩手県造園組合の協力を得て、ツバキの植樹式が行われました。資生堂ジャパン(株)には2012(平成24)年から、福祉の里センター周辺などで、ツバキの植樹をして

いただいています。

ハナミズキ・桜・千年広場・ツバキなど、本市の復興は国内外の多くの皆さんからの励ましを受けています。これらは植樹されたばかりですが、年々成長し周辺に素晴らしい景観をもたらすとともに、春には開花し多くの人々に潤いと復興の喜びを与えながら、本市の特徴あるスポットに成長してゆくことでしょう。